河辺林通信

建部北町の森から

2021年 5月号 No.277

↑いつもより早く咲いたヤマツツジ

春休みのクイズラリー大好評！

春休みは、2003年からクイズラリーを行っています。今年は歴代最多の394名の方々にお楽しみいただきました（2019年は223名、2020年は中止）。コロナ禍もあり、ご自宅から近いこの森を選んでもらえたのかなと思っています。また、昨秋の校外学習で訪れた小学2年生の子が当日に使用した冊子を持ってご家族で遊びに来られていました。冊子作成に関しては、校外学習後に森へ遊びにきてもらえることも目的にしていたので大変嬉しい出来事でした。

イベント「たき火にちょうせん」は2日間で計4回（各回定員12名）のところ111名の応募がありました。拾った枝に、ドキドキしながらマッチをすり、火を熾しました。そして、自分たちで熾した火を使い、ろうそくを作りました。参加者の子ども達はとてもいい顔で、楽しんでいました！

↑クイズラリー答えあわせ

↑マッチの練習

↑自分たちでひろった柴でたき火！

↑ろうそく完成☆

植物標本を活用するための活動

2018年に大阪自然史博物館の理事長でいらっしゃいます梅原徹氏に河辺いきものの森の植生調査に入っていただいております。

梅原氏には、25年前の1996年にも調査していただいており、当時290種類だったのが、2018年の調査では474種類が野生状態で生息していることが分かっています。20年間の保全活動の甲斐があり、194種類の植物が増えたことが明らかになりました。また、2018年に採取された植物は梅原氏が一枚ずつ標本にしてくださり、大阪自然史博博物館に寄贈されています。

丁寧に調査していただいたデーターは、河辺いきものの森の宝だと思っています。そんな貴重なデーターを東近江市の市民の皆さまのために有効に活用したいと思っており、皆さまに見ていただける形にしたいと思っています。そのためには、植物の写真が多く必要とのことが分かり、2018年の植生調査に関わってくださった森小夜子さんと再び植生調査を始めています。また、市内在住の2名の方が心強いサポートとして加わってくださり、大変有り難いです。

どんな形でご紹介できるかは、まだ未定ですが時間がかかってでも、河辺の森の素晴らしさを市民に皆さまに分かりやすくお伝えできるように尽力してまいります。

↑森小夜子さんとご協力いただいているKさん

↓ウワミズザクラと
イヌザクラの葉の
特徴を教わりました

●4月の作業だより

第2土曜日（4月10日）20人

午前中のみの作業でした。
お天気に恵まれ、12組20名の方にご参加いただきました。

作業内容は、倉庫裏の常緑樹刈りでした。１月から作業を続けてきたおかげで、ずいぶんスッキリとしてきました。木を伐採したことで、ウラゲエンコウカエデの幼樹をたくさん見つけることができました。
また、枯れ木の伐採も行いました。

木ままクラブ（4月15日）

森の竹とテント生地を利用した手作りテントの竹が傷んできたので、竹を替える作業をしました。ピシッと張られたテントがとても気持ち良いです！

木ままクラブ（4月22日）

以前の作業で玉切りにしておいた、たくさんの木を2台の薪割り機で薪割りしました。暑い中の作業でしたが、たくさんの薪ができました。

第4水曜日（4月28日）

雨の中でしたが、午前中は林内の危険木を伐採しました。5月の連休明けから始まる学校団体の環境学習が安心して行えるようになりました！午後からはキャンプ用の薪割りをしました。

5月の活動日

第2土曜日は午前中のみの活動です。その他は、9時～14時頃まで活動します。

5/8（土）	水辺の整備
5/13（木）	梵釈寺
5/20（木）	木ままクラブ
5/26（水）	林内整備

新型コロナウイルスの状況によっては中止になる場合もございます。
中止の場合は、ホームページやFBでお知らせします。

４月の観察会

4月の観察会は『春のもりでお花見～全員ビンゴ～』でした。森の中はちょうど花盛り！お花見をしながら、その時に感じた思いをビンゴにしながら森を回りました。

「すきだと思ったもの」「きれいだなと思ったもの」「この中にない思い」など9マスの思いをあげてみて、何を見ていた時にそう感じたのか教えてもらい、みんなで気持ちを共有しました。「この中にない思い」で面白かったは、「ヤマコウバシの新芽がカナヘビのお腹と同じ感触だったことに気がついたこと！」でした。実際にカナヘビを捕まえている子がいたので、みんなで新芽とお腹を交互に触りながら「ほんまやー！」と大発見の気持ちを共有しました。

自然の中で美しいもの、素敵なものを見つけ感じる心は人それぞれです。豊かな自然の中で豊かな感性を磨けることをみんなで楽しめる。そんな時間がとても愛おしく幸せだなと感じた4月の観察会でした。

↑新芽とカナヘビのお腹を交互に確認♪

遊林会ＳＮＳもいろいろやってます！

これまでも、ホームページやブログ「かわべぇフォトログ」など様々なツールを使って情報を発信してきた遊林会ですが、最近はSNSにも力を入れています。

フェイスブックでは、毎月の保全活動の様子やお知らせや、季節の花を紹介したりもしています。そして、今年からはLINEも始めました！こちらはお友達登録をすることで、イベント情報など受け取ることができます。
ぜひ下のQRコードからお使いのSNSで遊林会をフォローして注目してくださいね！

遊林会のマークがめじるしです!→

遊林会最新情報発信中！

保全活動の様子やイベント情報など、最新情報を発信しています!ぜひフォローやお友達登録してくださいね!

HP http://www.yurinkai.org/
facebook @satoyama.yurinkai
LINE @485ooqnn

編集後記

コロナ禍の中ではありますが、今年度は今のところ、ほぼ例年通りに進んでいます。また、これまでとはプログラム内容を変えての事業も出てきますが、昨年の困難を乗り越えた分、新たな発想や負けない心で事務局一同、尽力していけると思っております。今後とも何卒、宜しくお願い申し上げます。　（熊木）

【発行者】
特定非営利活動法人
里山保全活動団体　遊林会
代表理事　井田 三良

〒527-0003
滋賀県東近江市建部北町531
河辺いきものの森内
電　　話 ： 0748-20-5211
メール ： ikimono@e-omi.ne.jp